

＜めあて＞ 小数のかけ算のしかたを考えよう。



＜問題1＞  
筆算で計算をしましょう。  
 $5.26 \times 3.8$

- 答えの見当をつけるとまちがいが少なくなる。
- <小数をかける筆算のしかた>

① 小数点がないものとして計算する。  
② 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ、右から数えてうつ。

$$\begin{array}{r} 5.26 \\ \times 3.8 \\ \hline 4208 \\ 1578 \\ \hline 19988 \end{array}$$

5.26 → 右へ2けた  
3.8 → 右へ1けた  
→ 右へ3けた ×1000  
→ 左へ3けた ÷1000

＜問題2＞  
積が7より小さくなるのはどれですか。計算しないで答えましょう。

ア  $7 \times 0.98$   
イ  $7 \times 1.2$   
ウ  $7 \times 0.45$

かける数に注目しよう！

※小数点の位置に気をつけましょう。

＜問題1の答え＞

$$\begin{array}{r} 5.26 \\ \times 3.8 \\ \hline 4208 \\ 1578 \\ \hline 19988 \end{array}$$

見当をつけたおおよそ20と近いね！

＜問題2の答え＞ ※1より小さい数をかけると・・・

ア  $7 \times 0.98$  かける数<1のとき・・・積<かけられる数  
イ  $7 \times 1.2$  かける数>1のとき・・・積>かけられる数  
ウ  $7 \times 0.45$  かける数<1のとき・・・積<かけられる数

**答え ア、ウ**

＜問題3＞  
計算のきまりを使って、くふうして計算しましょう。

①  $1.8 \times 4 \times 2.5$   
②  $3.6 \times 2.3 + 6.4 \times 2.3$

※計算のきまりを使うことで、計算が簡単になる場合があります。

＜問題3の答え＞

① 計算のくふう

$$\begin{aligned} &1.8 \times 4 \times 2.5 \leftarrow 4 \times 2.5 \text{ 積が整数になる} \\ &= 1.8 \times (4 \times 2.5) \leftarrow 4 \times 2.5 \text{ を先に計算(きまり)} \\ &= 1.8 \times 10 \leftarrow \text{計算がかんたんになった!} \\ &= 18 \end{aligned}$$

＜問題3のポイント＞

計算のきまりを使ってくふうして計算  
整数のときに成り立った計算のきまりは、小数のときも成り立ちます。

ア  $\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$   
イ  $(\blacksquare \times \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times (\bullet \times \blacktriangle)$   
ウ  $(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$   
エ  $(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$

＜問題3の答え＞

② 計算のくふう

$$\begin{aligned} &3.6 \times 2.3 + 6.4 \times 2.3 \\ &= (3.6 + 6.4) \times 2.3 \\ &= 10 \times 2.3 \leftarrow \text{計算がかんたんになった!} \\ &= 23 \end{aligned}$$

3.6と6.4の和が整数、2.3が共通することを利用して、工夫できるね！

計算のきまりを使い、工夫できるよう、計算が簡単になる式や数に注目しよう。

＜まとめ＞

・小数のかけ算は、整数の計算をもとにすると計算できます。

